

整理番号 25

実施年度

令和5年度（事業期間 令和5年4月～令和7年3月）

事業名

狭隘道路における走行支援システムの導入による円滑な交通の確保に向けた検討と効果検証の実施

提案者

茨城県（道路建設課、常陸太田工事事務所）

課題及びねらい

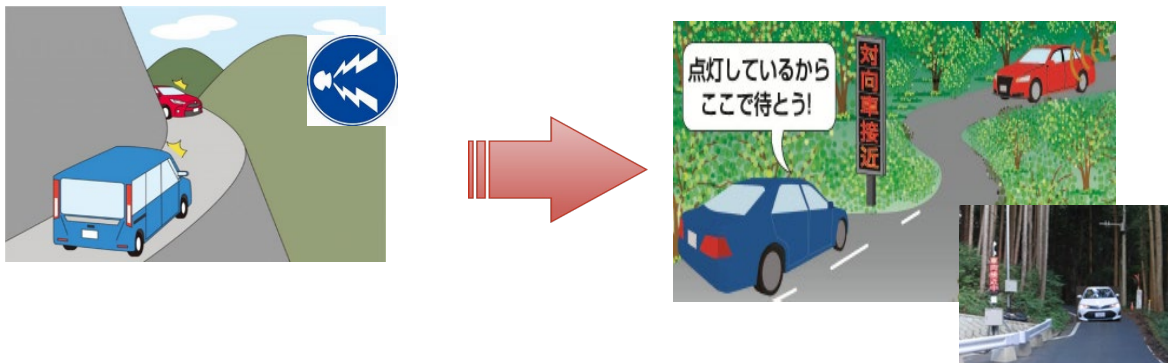
円滑な交通に支障をきたす狭隘な道路は、特に県北中山間地域に多く見られ、その抜本的な解消には多大な事業費と期間を要するハード整備が必要である。こうした課題を踏まえ、早期に安全安心な道路環境を整備することを目指し、走行支援システムによるソフト面での対策を実証検証する。

期待される効果

- ・ 狭隘道路での運転のし易さや交通事故の回避等、交通の円滑化と安全性向上
- ・ 交通対策に資する機動的な対策の指針となる運用ガイドラインの策定

実施概要

- ・ 通行車両の安全性や安心感を向上させ、円滑な通行の確保を目的とする対向車接近表示装置（やまびこシステム）を導入し実証検証を実施
- ・ 一般県道上君田小妻線（常陸太田市小妻町地内）のうち、特に狭隘ですれ違いや見通しが困難な区間において、起終点にそれぞれのセンサーを設置し実証実験を実施
- ・ 対向車接近表示装置の機能について、周辺住民及び道路利用者への周知とアンケートを実施
- ・ システムの有効性や改善点について検証



検証結果

- ・ 対向車接近表示装置（やまびこシステム）導入前と比較し円滑な通行、安全かつ安心に走行できるなど利用者の評価は概ね良好であり、システムの有効性が確認できた。
- ・ 同様箇所での対策業務の手引書として参考指針となる運用ガイドラインを取りまとめた。